

漢検職員が
お答えする

漢検 Q & A

学習編

楽しく学んで、合格をつかもう!

「検・険・験」など
同じ読み方で形も
似た漢字は
特にご注意を!



検定編集部
いちまるさん

みなさんは漢字学習をどう思われますか?「覚えるしかないけど、つまらない...」「いっぱい覚えただけど間違っちゃった」という方は、漢字学習の考え方、取り組み方を変えてみましょう!

A.1 同じ読み方をする漢字や形が似ている漢字の混同に注意!

Q.1 漢字の書き取りは何に注意して練習したらいいですか?

何度も書いてがんばって覚えたいはずの漢字。けれど、多くの漢字を覚えれば覚えるほど、形の似た漢字の区別があいまいになっていませんか?「輪・輪論」など、似た形の漢字はその違いに注意しながら、それぞれ、字が持つ意味と関連つけて覚えましょう。

また、形は似ているのに細部が異なる漢字もありますね。例えば「博・専」。「博」の旁(よろ)には(く)があるのに、似た形の「専」の右上には(く)がありません。ほかにも「水・氷」は書いても「泳」になると、あやふやになる...なんてことのないように、似た形の字は、その違いを意識して練習するのみにしましょう。

Q.2 熟語を覚えるときには何に注意したらいいですか?

A.2 熟語を構成する漢字の意味と役割を意識してみましょう

漢字学習では字の読み・書きだけでなく、それぞれの字を使った熟語を学ぶ必要があります。熟語もただ読み方書き方がわかっているだけでは不十分で、意味を知らなければ対義語・類義語を考えたり、同じ読みの違う言葉(同音・同訓異義語)を正しく使い分けたりすることができません。ですから、熟語を覚えるときは辞書を引いて意味も正しく理解しましょう。もし知らない熟語に出会ったときも、漢字一字一字の意味を知っていれば、熟語がどのような組み立て(構成)になっているかを合わせて考えることで、おおよその意味をおしはかることができます。熟語の構成には次のようなものがあります。

- ① 同じような意味の字を組み合わせたもの
例: 建(る) + 築(く) → 建築
- ② 反対や対になる意味の字を組み合わせたもの
例: 高(い) + 低(い) → 高低
- ③ 上の字が下の字の意味を説明(修飾)しているもの
例: 楽(に)勝(つ) → 楽勝
- ④ 下の字から上の字へ返って読むと意味がよくなるもの
例: 会(を)開(く) → 開会

Q.3 漢字が苦手な勉強が進まない... どうすれば興味を持てますか?

A.3 一度にたくさん覚えようとせず、少しずつ楽しく学ぶようにしましょう!

最初からたくさん漢字を覚えようとする、息切れしてしまいますよね。まずは無理なくできる範囲で大丈夫! 少しずつでもきちんとできるようになれば、自信がついて学習が楽しくなれますよ。

手軽に
楽しく学べる
おすすめの
一冊です!

いちまる
入門に最適な1日10分の漢字学習

いちまる とはじめよう! わくわく漢検

待望の
新刊登場!



- 「季節の漢字」「生きものの漢字」など、各級の新出配当漢字をテーマ別に配列。
- 1日10分の短い学習時間で、手軽に取り組める。
- 漢字を用いた遊びのページやシールなど、楽しい要素が満載。

5・6・7・8・9・10級
各定価810円(本体750円+税8%)
A5変型判(182×210mm)

